

番号：	SOM-EMI-02-05
作成日：	2024年6月14日

ソフトウェア取扱説明書

EMI シリーズ

ハードウェア設定編

ソフトウェア取扱説明書	書類番号 SOM-EMI-02-05	ページ 2 / 27
-------------	-----------------------	---------------

■履歴

改訂	作成日	内 容
---	2020/11/1	新規作成
1	2020/12/21	経路設定の変更
2	2021/6/11	レシーバ・スペアナの自動 ATT 設定追加
3	2023/10/21	リバブレーションチャンバー(RC)対応
4	2024/3/15	アンテナ最大登録数修正
5	2024/6/14	トランステューサ設定に GTEM セル設定追加

ソフトウェア取扱説明書	書類番号 SOM-EMI-02-05	ページ 3 / 27
-------------	-----------------------	---------------

■目次

1. はじめに	4
1.1 ハードウェア設定	4
1.2 トランステューサ設定	4
1.3 測定経路の設定	5
2. ハードウェア設定を行う	6
2.1 ハードウェア設定について	6
2.2 機器の通信設定	6
2.3 コマンド設定（レシーバ・スペアナ）	7
2.4 自動 ATT 設定（レシーバ・スペアナ）	8
2.5 ハードウェア設定画面を開く	9
2.6 レシーバ設定	10
2.7 スペアナ設定	11
2.8 RF 切替器設定	12
2.9 アンテナマストコントローラ設定	14
2.10 ターンテーブルコントローラ設定	15
2.11 Tuner/Stirrer 設定[RC]	16
2.12 経路設定	16
3. トランステューサを設定する	17
3.1 トランステューサ設定について	17
3.2 トランステューサ設定画面を開く	17
3.3 アンテナ[RE]設定	18
3.4 AMN 設定	19
3.5 ISN 設定	20
3.6 プローブ設定	21
3.7 アンテナ[MG]設定	22
3.8 Tx アンテナ設定[RC]	23
3.9 GTEM セル設定[GTEM]	24
3.10 その他設定	25
4. 測定経路を設定する	26
4.1 測定経路について	26
4.2 経路設定画面を開く	26
4.3 経路を設定する	26

1. はじめに

本ソフトウェアではハードウェア設定として以下の3項目があります。

1.1 ハードウェア設定

- ・主にリモート制御する機器と経路の設定を行います
- ・機器毎の設定、経路設定をファイル保存します
- ・経路の設定はメニューから編集することも可能です

レシーバ:	RCV.hrv	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
スペアナ:	SPA.hsp	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
RF切替器:	SW.hsw	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
アンテナマスト:	AM.ham	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
ターンテーブル:	TT.htt	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
クランプコントローラ:	CC.hcc	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
ステップATT:	SATT.hsa	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
経路設定:	RUT.hrut	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階

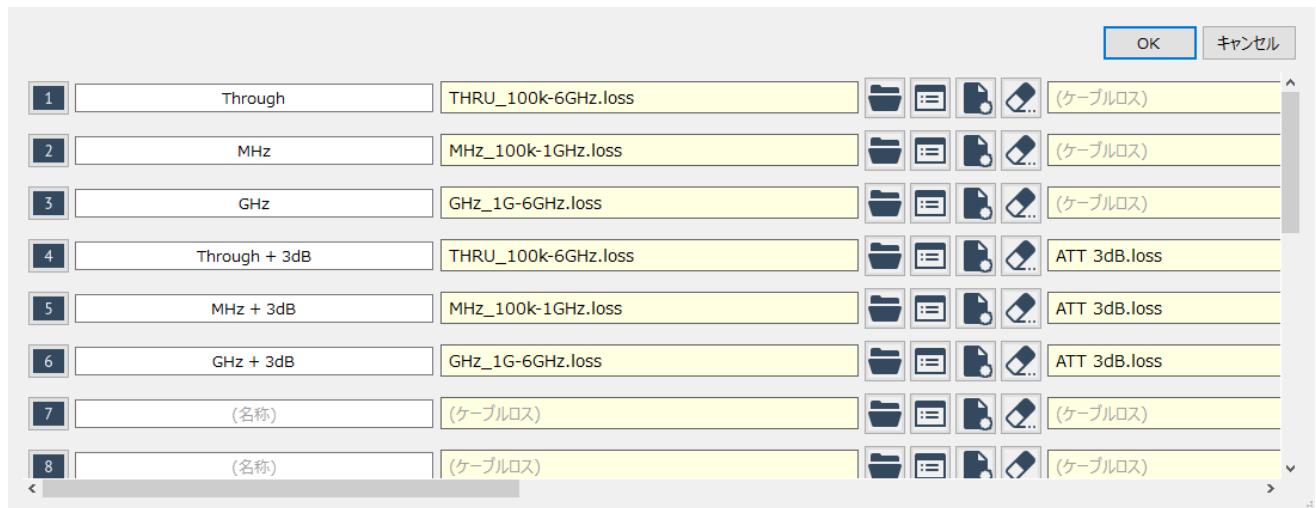
1.2 トランステューサ設定

- ・測定に使用するトランステューサ（アンテナやAMNなど）の設定を行います。
- ・トランステューサ毎に設定をファイル保存します
- ・登録したトランステューサは測定条件設定にて選択して使用します

アンテナ[RE]:	RANT.hrant	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
AMN/LISN:	AMN.hamn	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
ISN:	ISN.hisn	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
プローブ:	EPR.hepr	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
アンテナ[MG]:	MANT.hmant	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
クランプ:	CLP.hclp	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階
その他:	EOHT.heoh	ファイル	バック	二段階	三段階	四段階	五段階	六段階	七段階	八段階	九段階

1.3 測定経路の設定

- ・測定で使用する経路を登録します。
- ・経路はファクターファイル（ケーブルロス・プリアンプゲインなど）を登録します
- ・登録した経路は測定条件設定にて選択して使用します



2. ハードウェア設定を行う

2.1 ハードウェア設定について

各ハードウェアの設定はファイルとして保存されます。

表示されるハードウェア機器の種類は、ソフトウェアによって異なります。

各ファイルの操作については【簡単スタートアップガイド】を参照してください。

2.2 機器の通信設定

各機器はパソコンから制御するための NI-VISA、シリアルポート（RS-232C）などを使用します。



a) 通信種別の選択

GPIB / USB / LAN / RS232C / SOCKET から選択します。

b) アドレス設定

通信設定により異なります。

GPIB	GPIB アドレス（1～30）を指定します GPIB ボードを複数使用する場合は【GPIB1::30::INSTR】のように設定します。 30,R0 のようにアドレス後に ,R0 を付加することで Readdress OFF 設定になります。 光 GPIB 変換機を使用した時に通信エラーが起きた場合にお試しください。
USB	VISA エイリアス名を指定します
LAN	IP アドレスを指定します
RS232C	ポート設定画面にて設定します
SOCKET	IP アドレスを指定します 192.168.100.100::10001 のように設定します。

2.3 コマンド設定 (レシーバ・スペアナ)

ソフトウェアから送られないコマンドを送信することができます。

特殊な設定を行いたい場合に使用してください。

機種: ESW [R&S]
コマンド設定
自動ATT設定

アドレス: 20
通信: GPIB

オリジナルプリセットコマンド

	コマンド:	送信前 Wait[ms]:	送信後 Wait[ms]:	
ON	INST:SEL REC	0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信

オリジナルコマンド

	コマンド:	送信前 Wait[ms]:	送信後 Wait[ms]:	
ON	DISP:TRAC:Y 80	0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信
OFF		0	50	送信

OK
キャンセル

■オリジナルプリセットコマンド

機器の初期化を行う際にコマンドを送信します。

ソフトウェアは機器をリセットする際に[*RST]などのコマンドを送信しますが、この設定にコマンドが入っている場合はリセットコマンドを送りません。

■オリジナルコマンド

ソフトウェアが機器の設定コマンドを送信後、ここで設定されたコマンドを送信します。

特殊な設定を行いたい場合に使用してください。

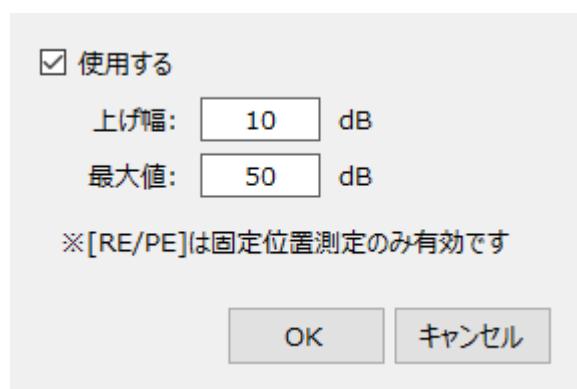
2.4 自動 ATT 設定 (レシーバ・スペアナ)

測定中に【IF Overload】が発生した場合、測定を停止せずに ATT 値と REF レベルを自動調整して測定を継続することができます。



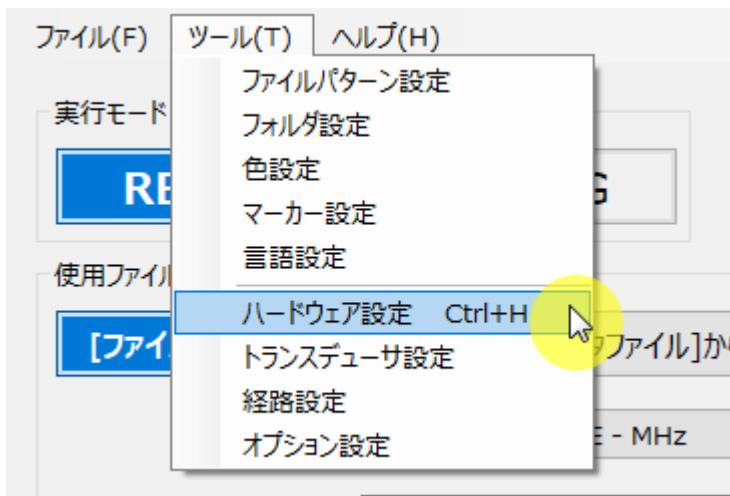
※使用できる機種は【IF Overload】が検出できる機種のみです。

※RE や PE のパターン測定では使用できません。

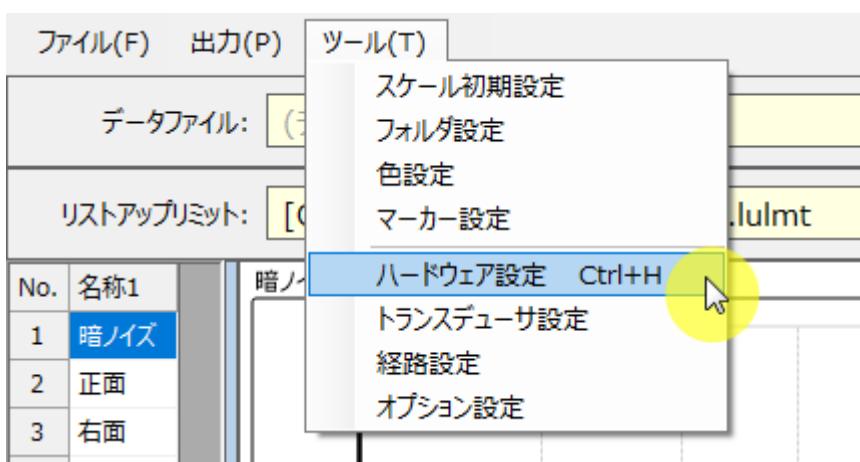


項目	備考
上げ幅	ATT の上げ幅を設定します。併せて REF レベルも上昇します。 ATT=0dB, REF=60dB μ V → 【IF Overload】発生 ATT=10dB, REF=70dB μ V → 【IF Overload】発生 ATT=20dB, REF=80dB μ V → 【IF Overload】発生せず → 測定実行
最大値	ATT の最大設定値を設定します。 最大値に到達しても【IF Overload】が発生する場合は測定を停止します。

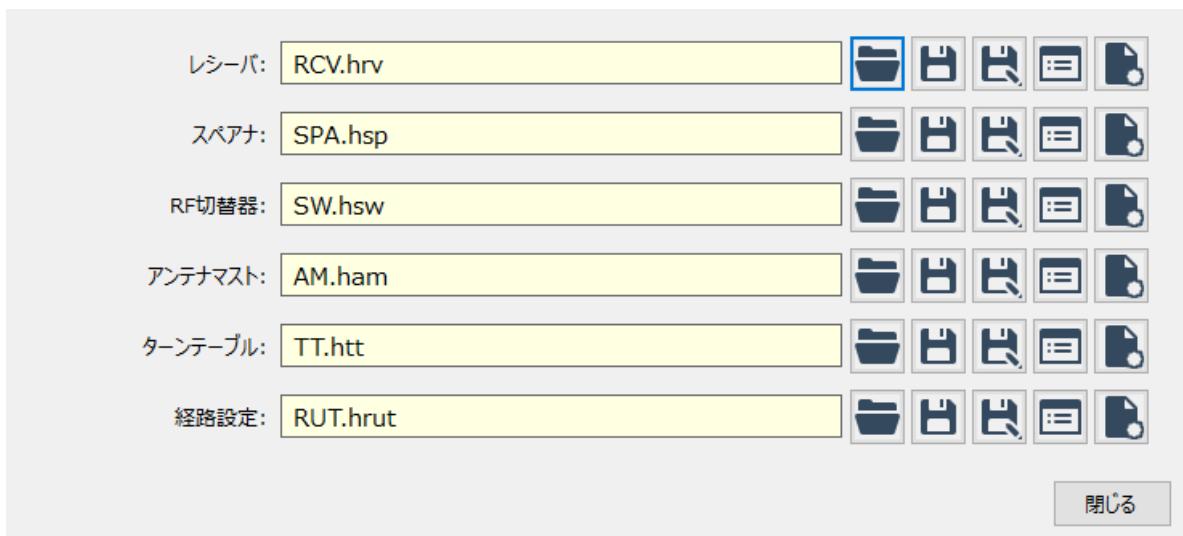
2.5 ハードウェア設定画面を開く



[ツール] - [ハードウェア設定]をクリックします。



実行画面でも編集可能です。



2.6 レシーバ設定

■ESCIを選択した場合

機種: **ESCI [R&S]** | コマンド設定

アドレス: **20** | 通信: **GPIB**

詳細設定

	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
Name:	標準	C-AVG			
PREAMP:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
AUTO RANGE:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
ATT PROTECTION:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
AUTO PREAMP:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
RF INPUT COUPLE:	AC	AC	DC	DC	DC
AVERAGE DETECTOR:	AVERAGE	CISPR-AVERAGE	AVERAGE	AVERAGE	AVERAGE
DEMOD:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

OK | キャンセル

■ESWを選択した場合

機種: **ESW [R&S]** | コマンド設定

アドレス: **20** | 通信: **GPIB**

詳細設定

	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
Name:	DC TDS OFF IN2	AC TDS OFF CAV IN1	DC TDS ON IN2	AC TDS ON IN1	
PREAMP:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
AUTO RANGE:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
ATT PROTECTION:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
ATT MODE:	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
AUTO PREAMP:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
RF INPUT PORT:	Port.2	Port.1	Port.2	Port.1	Port.1
RF INPUT COUPLE:	DC	AC	DC	DC	DC
Preselector Type:	150k…30MHz	150k…30MHz	150k…30MHz	150k…30MHz	150k…30MHz
AVERAGE DETECTOR:	AVERAGE	AVERAGE	AVERAGE	AVERAGE	AVERAGE
DEMOD:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
TIME DOMAIN SCAN:	OFF	OFF	ON	ON	OFF
FILTER TYPE:	CISPR	CISPR	CISPR	CISPR	6dB
Notch Filter 2.4GHz:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
Notch Filter 5.725GHz:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
Pulse Limiter(Input2):	ON	ON	ON	ON	ON

OK | キャンセル

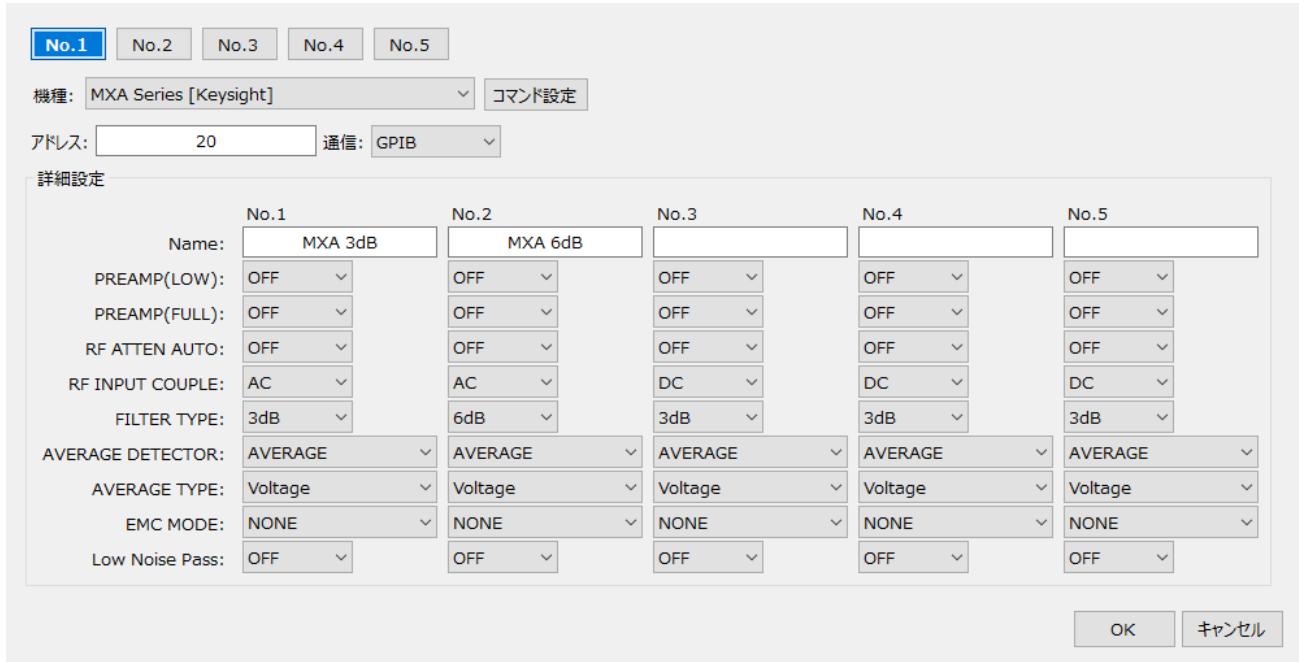
詳細設定の内容は選択された機器毎に項目が異なります。機器のマニュアルを参照して設定してください。

登録した設定は測定条件設定にて選択・編集して使用します。

2.7 スペアナ設定

- ・スペアナは5台まで登録することができ、測定条件にて使用する機種を選択します。

■ MXE を選択した場合



MXA Series [Keysight] [コマンド設定]

アドレス: 20 通信: GPIB

詳細設定

	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
Name:	MXA 3dB	MXA 6dB			
PREAMP(LOW):	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
PREAMP(FULL):	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
RF ATTEN AUTO:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
RF INPUT COUPLE:	AC	AC	DC	DC	DC
FILTER TYPE:	3dB	6dB	3dB	3dB	3dB
AVERAGE DETECTOR:	AVERAGE	AVERAGE	AVERAGE	AVERAGE	AVERAGE
AVERAGE TYPE:	Voltage	Voltage	Voltage	Voltage	Voltage
EMC MODE:	NONE	NONE	NONE	NONE	NONE
Low Noise Pass:	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

OK キャンセル

詳細設定の内容は選択された機器毎に項目が異なります。機器のマニュアルを参照して設定してください。
登録した設定は測定条件設定にて選択・編集して使用します。

2.8 RF 切替器設定

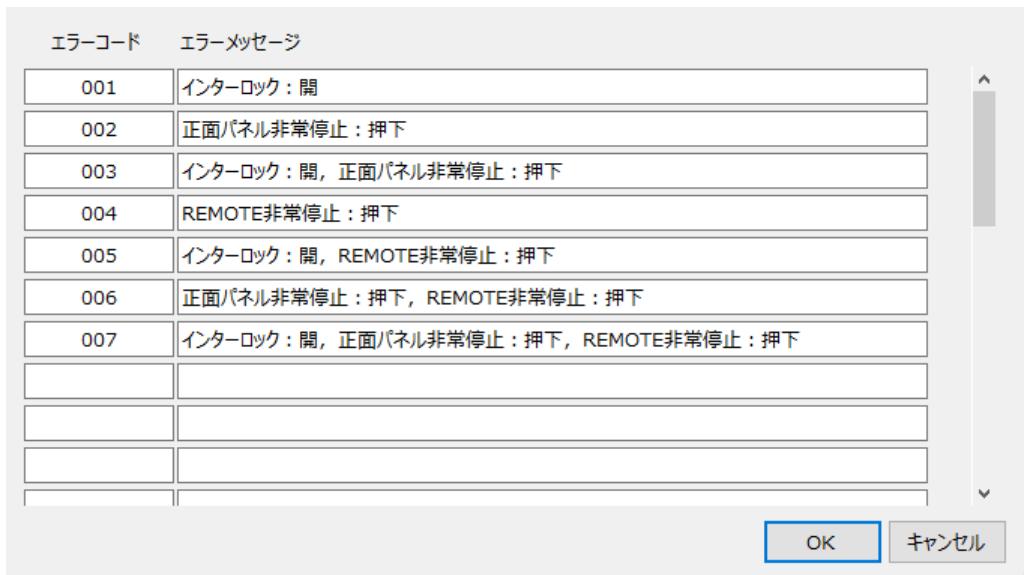
- ・3台の切替器を設定することができます。
- ・切替器の選択は【経路設定】にて設定します。

切替器①	切替器②	切替器③																																
機種: <input type="button" value="Remote Type"/> アドレス: <input type="text" value="7"/> 通信: <input type="button" value="GPIB"/> <input type="checkbox"/> 試験中にステータスを確認する（インターロックチェック） エラーメッセージ: <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">インターロックエラーが発生しました。</div> エラーコードメッセージ設定	機種: <input type="button" value="使用しない"/> アドレス: <input type="text"/> 通信: <input type="button" value="使用しない"/> <input type="checkbox"/> 試験中にステータスを確認する（インターロックチェック） エラーメッセージ: <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></div> エラーコードメッセージ設定	機種: <input type="button" value="使用しない"/> アドレス: <input type="text"/> 通信: <input type="button" value="使用しない"/> <input type="checkbox"/> 試験中にステータスを確認する（インターロックチェック） エラーメッセージ: <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></div> エラーコードメッセージ設定																																
名称: コマンド: <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>No.1</td> <td>Through</td> <td>1A</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>No.2</td> <td>MHz Preamp</td> <td>1B</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>No.3</td> <td>GHz Preamp</td> <td>1C</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>No.4</td> <td></td> <td></td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>No.5</td> <td></td> <td></td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>終端:</td> <td></td> <td>5B</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>開始:</td> <td></td> <td>5A</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>終了:</td> <td></td> <td>5B</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> </table> 切替後Wait時間: <input type="text" value="250"/> msec			No.1	Through	1A	<input type="button" value="送信"/>	No.2	MHz Preamp	1B	<input type="button" value="送信"/>	No.3	GHz Preamp	1C	<input type="button" value="送信"/>	No.4			<input type="button" value="送信"/>	No.5			<input type="button" value="送信"/>	終端:		5B	<input type="button" value="送信"/>	開始:		5A	<input type="button" value="送信"/>	終了:		5B	<input type="button" value="送信"/>
No.1	Through	1A	<input type="button" value="送信"/>																															
No.2	MHz Preamp	1B	<input type="button" value="送信"/>																															
No.3	GHz Preamp	1C	<input type="button" value="送信"/>																															
No.4			<input type="button" value="送信"/>																															
No.5			<input type="button" value="送信"/>																															
終端:		5B	<input type="button" value="送信"/>																															
開始:		5A	<input type="button" value="送信"/>																															
終了:		5B	<input type="button" value="送信"/>																															
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>																																		

切替器①																																
機種: <input type="button" value="Remote Type"/> アドレス: <input type="text" value="7"/> 通信: <input type="button" value="GPIB"/> <input checked="" type="checkbox"/> 試験中にステータスを確認する（インターロックチェック） エラーメッセージ: <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">インターロックエラーが発生しました。</div> エラーコードメッセージ設定																																
名称: コマンド: <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>No.1</td> <td>Through</td> <td>1A</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>No.2</td> <td>MHz Preamp</td> <td>1B</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>No.3</td> <td>GHz Preamp</td> <td>1C</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>No.4</td> <td></td> <td></td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>No.5</td> <td></td> <td></td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>終端:</td> <td></td> <td>5B</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>開始:</td> <td></td> <td>5A</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> <tr> <td>終了:</td> <td></td> <td>5B</td> <td><input type="button" value="送信"/></td> </tr> </table> 切替後Wait時間: <input type="text" value="250"/> msec	No.1	Through	1A	<input type="button" value="送信"/>	No.2	MHz Preamp	1B	<input type="button" value="送信"/>	No.3	GHz Preamp	1C	<input type="button" value="送信"/>	No.4			<input type="button" value="送信"/>	No.5			<input type="button" value="送信"/>	終端:		5B	<input type="button" value="送信"/>	開始:		5A	<input type="button" value="送信"/>	終了:		5B	<input type="button" value="送信"/>
No.1	Through	1A	<input type="button" value="送信"/>																													
No.2	MHz Preamp	1B	<input type="button" value="送信"/>																													
No.3	GHz Preamp	1C	<input type="button" value="送信"/>																													
No.4			<input type="button" value="送信"/>																													
No.5			<input type="button" value="送信"/>																													
終端:		5B	<input type="button" value="送信"/>																													
開始:		5A	<input type="button" value="送信"/>																													
終了:		5B	<input type="button" value="送信"/>																													

項目	備考
試験中にステータスを確認する	暗室のドア接点などを検出できる切替器の場合に使用します
エラーメッセージ	ステータスでエラーが検出されたときに表示するメッセージを設定します
名称	アンプ設定で表示される名称を登録します
コマンド	GPIB コマンドを登録します。,"で区切ることで複数コマンドを送信できます
切替後 Wait 時間	切替コマンド送信後の Wait 時間です

[エラーコードメッセージ設定] とは



切替器のステータス確認にてエラーコードを返す機種の場合、エラーコードの対応したエラーメッセージを表示することができます。

2.9 アンテナマストコントローラ設定

■ SI-300S を選択した場合



詳細設定の内容は選択された機器毎に項目が異なります。機器のマニュアルを参照して設定してください。

項目	備考
可動範囲	ソフトウェアで設定できる範囲を設定します
移動速度	マストが移動する際のスピードを選択します
初期位置設定	試験前や試験後に位置移動する際の初期位置を設定します
速度設定	低速/中速/高速を定義する速度を設定します。 設定は機種によって異なりますので、各マニュアルを参照してください。
偏波切替時間	偏波の切替に要する時間を設定します
BCD 設定	ポジション取得時に BCD を使用する際に設定します

2.10 ターンテーブルコントローラ設定

■ SI-300S を選択した場合

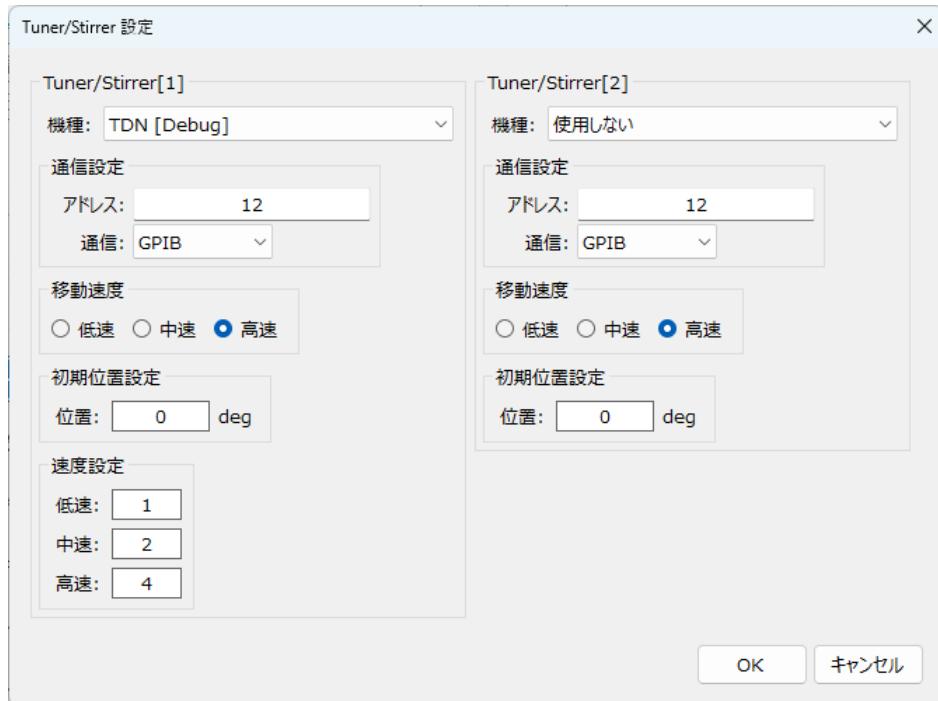


詳細設定の内容は選択された機器毎に項目が異なります。機器のマニュアルを参照して設定してください。

項目	備考
移動速度	テーブルが回転する際のスピードを選択します
初期位置設定	試験前や試験後に位置移動する際の初期位置を設定します
速度設定	低速/中速/高速を定義する速度を設定します。 設定は機種によって異なりますので、各マニュアルを参照してください。
回転モード	有限回転/無限回転 を実際のターンテーブルに合わせて選択します
BCD 設定	ポジション取得時に BCD を使用する際に設定します

2.11 Tuner/Stirrer 設定[RC]

・Tunner/Stirrer[T/S]は最大3軸まで設定することができます。



項目	備考
移動速度	T/S が回転または移動する際のスピードを選択します
初期位置設定	試験前や試験後に位置移動する際の初期位置を設定します
速度設定	低速/中速/高速を定義する速度を設定します。 設定は機種によって異なりますので、各マニュアルを参照してください。

2.12 経路設定

経路設定はハードウェア設定画面またはメニューから編集することができます。（4章参照）

3. トランステューサを設定する

3.1 トランステューサ設定について

各トランステューサの設定はファイルとして保存されます。

表示されるトランステューサの種類は、ソフトウェアによって異なります。

各ファイルの操作については【簡単スタートアップガイド】を参照してください。

3.2 トランステューサ設定画面を開く

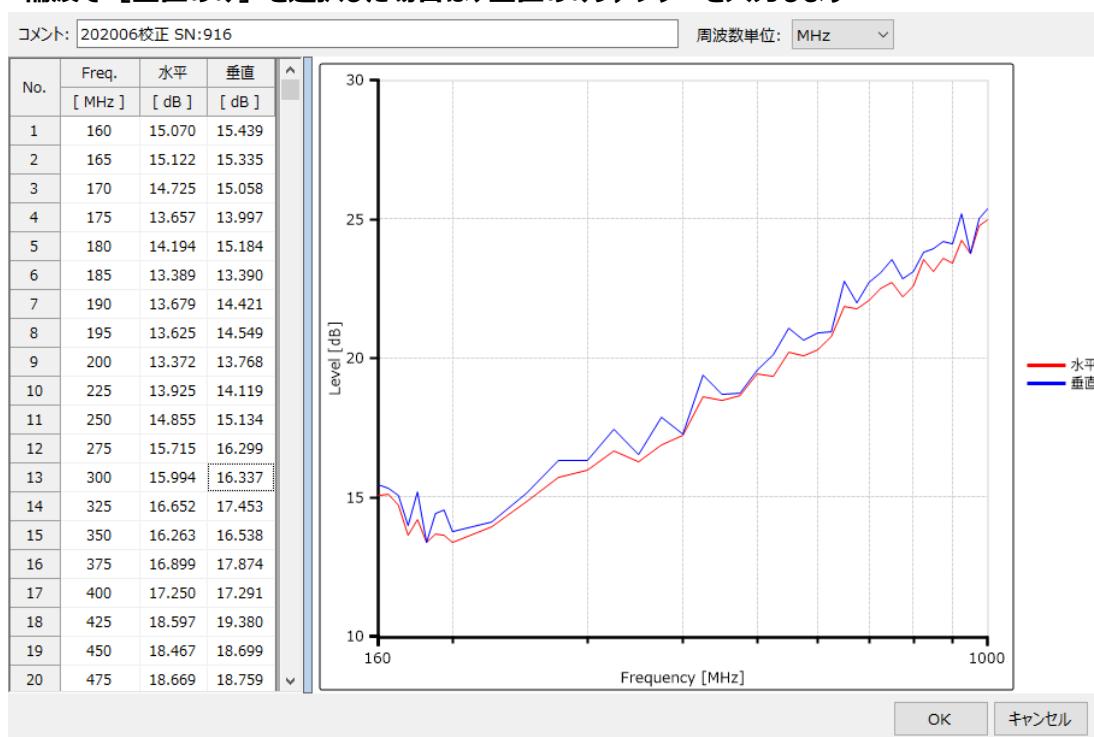


3.3 アンテナ[RE]設定

- ・最大登録数は 30 です
- ・名称の入力、ファクターファイルの編集・選択します
- ・偏波の種類を選択します。（アクティブロッドアンテナ等は垂直のみを選択します）



- ・ファクター(アンテナファクター)は偏波ごとに設定します
- ・偏波で【垂直のみ】を選択した場合は、垂直のみファクターを入力します



$$\text{測定値} [\text{dB}\mu\text{V}/\text{m}] = \text{受信機読み値} [\text{dB}\mu\text{V}] + \text{ファクター} [\text{dB}/\text{m}]$$

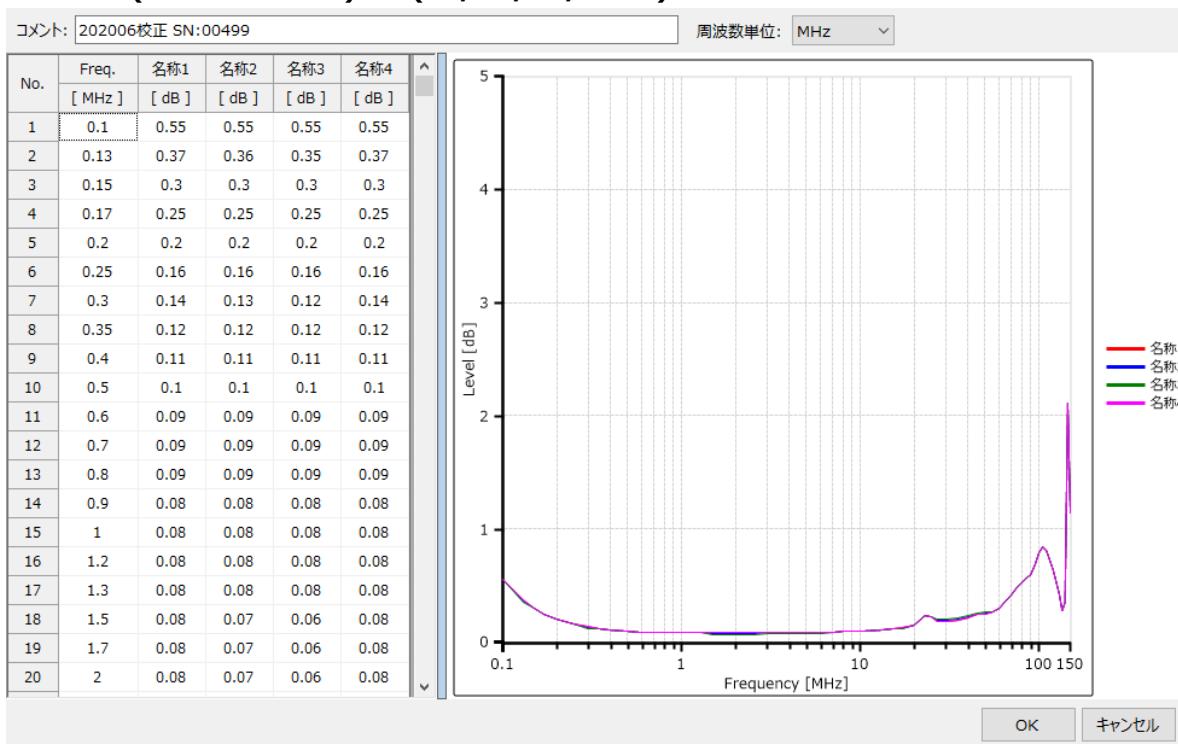
3.4 AMN 設定

- ・最大登録数は 30 です
- ・名称の入力、ファクターファイルの編集・選択します

名称:	ファイル名:						
No.1	NNBM8124-200 (00662)	NNBM8124-200_00662.amn					
No.2	NNHV8123-200 (00499)	NNHV8123-200_00499.amn					
No.3		(ファクターファイル)					
No.4		(ファクターファイル)					
No.5		(ファクターファイル)					
No.6		(ファクターファイル)					
No.7		(ファクターファイル)					
No.8		(ファクターファイル)					
No.9		(ファクターファイル)					

OK キャンセル

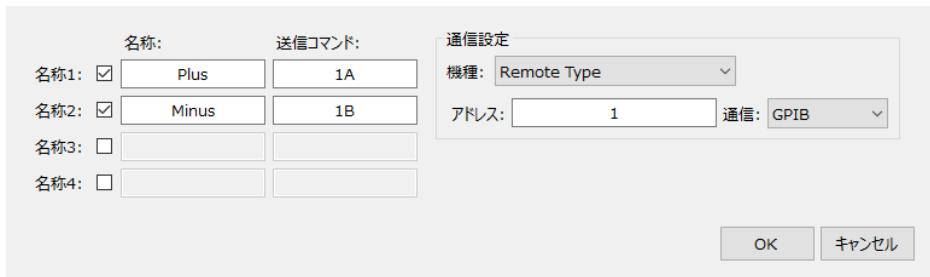
- ・ファクター(インサーションロス)は相(L1/L2/L3/N など)ごとに設定します



$$\text{測定値}[\text{dB}\mu\text{V}] = \text{受信機読み値}[\text{dB}\mu\text{V}] + \text{ファクター}[\text{dB}]$$

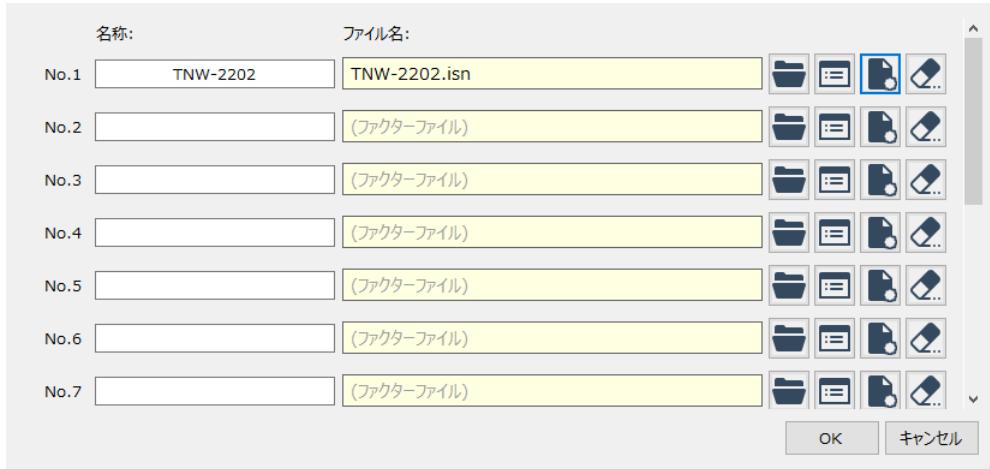
■ 詳細設定

- ・使用する相、相の名称を登録します
- ・相切替をリモートで行う場合はコマンド等の設定をします

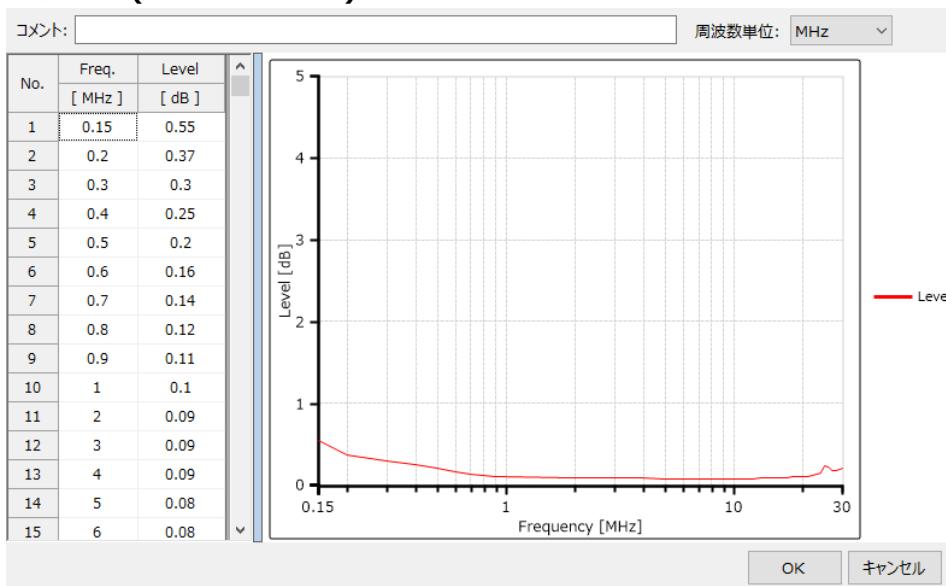


3.5 ISN 設定

- ・最大登録数は 15 です
- ・名称の入力、ファクターファイルの編集・選択します



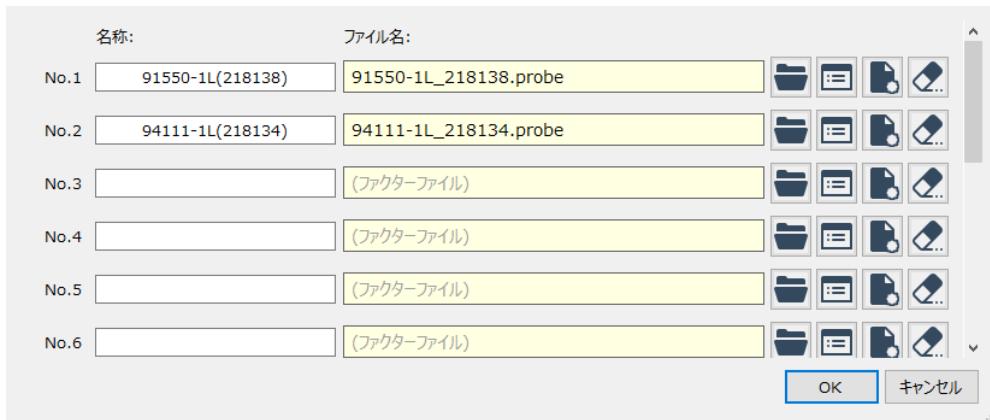
- ・ファクター(インサーションロス)を設定します



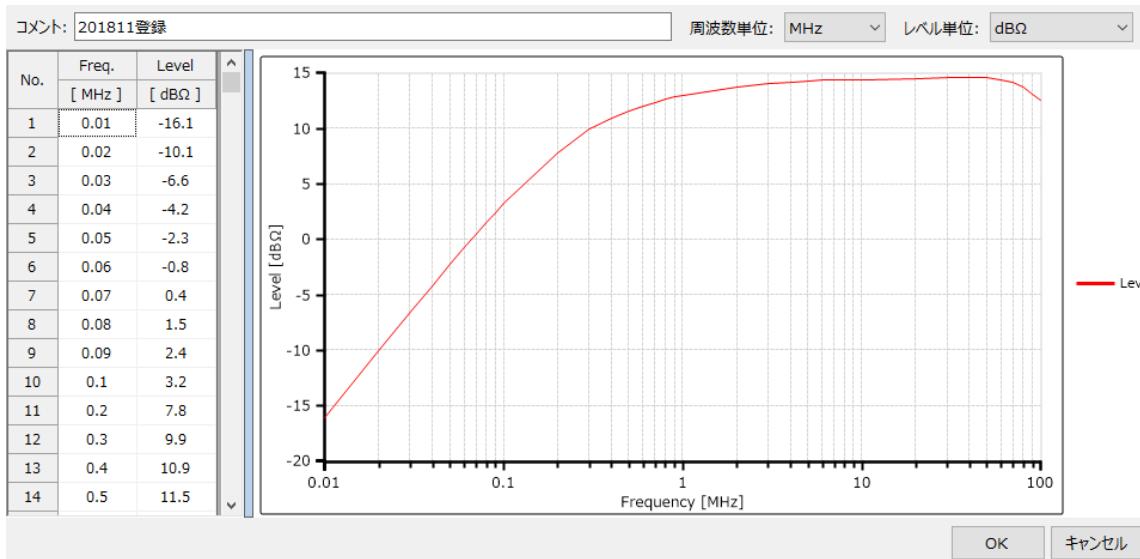
$$\text{測定値}[\text{dB}\mu\text{V}] = \text{受信機読み値}[\text{dB}\mu\text{V}] + \text{ファクター}[\text{dB}]$$

3.6 プローブ設定

- ・最大登録数は 30 です
- ・名称の入力、ファクターファイルの編集・選択します



- ・ファクター(トランスマインピーダンス)を設定します



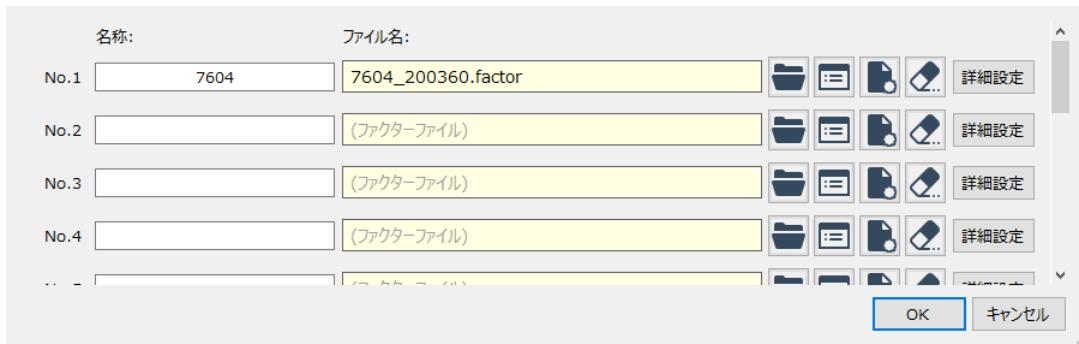
測定値[dBμV] = 受信機読み値[dBμV] - ファクター[dBΩ]

測定値[dBμV] = 受信機読み値[dBμV] + ファクター[dB]

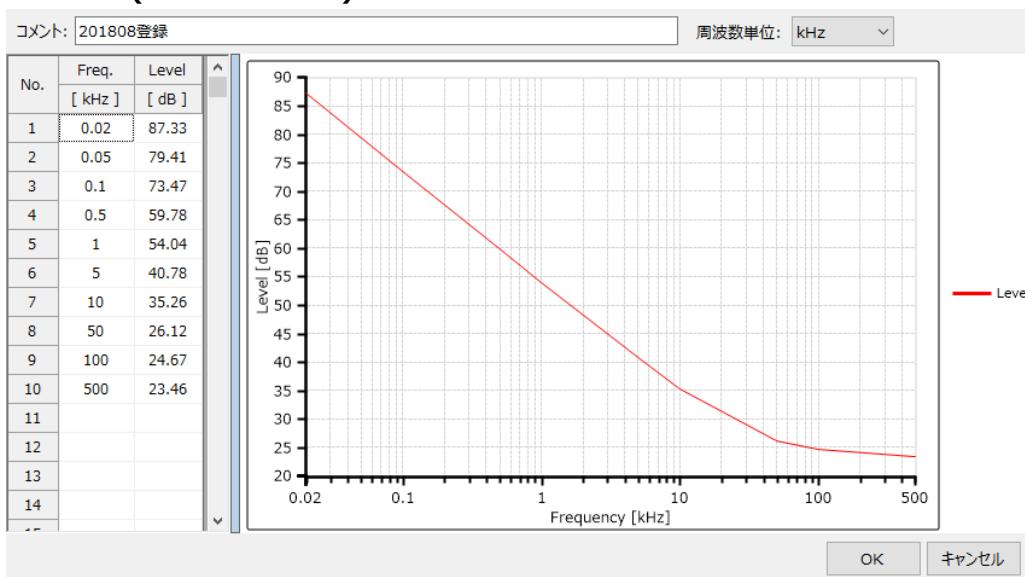
※単位を[dB]にした場合は加算します

3.7 アンテナ[MG]設定

- ・最大登録数は 15 です
- ・名称の入力、ファクターファイルの編集・選択します



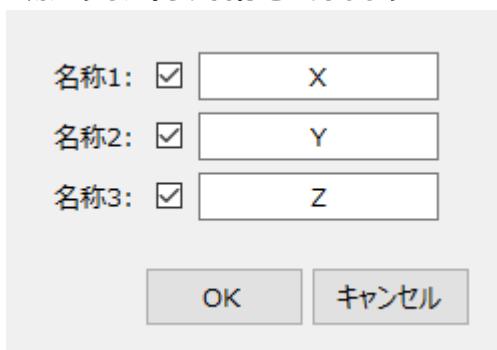
- ・ファクター(アンテナファクター)を設定します



測定値 = 受信機読み値[dB μ V] + ファクター[dB]
 ファクターは[dB μ V]を[dBpT]に変換する値を登録します。

■ 詳細設定

- ・測定する方向の名称を登録します



3.8 Tx アンテナ設定[RC]

- CLF 測定で使用したファイルを選択します。

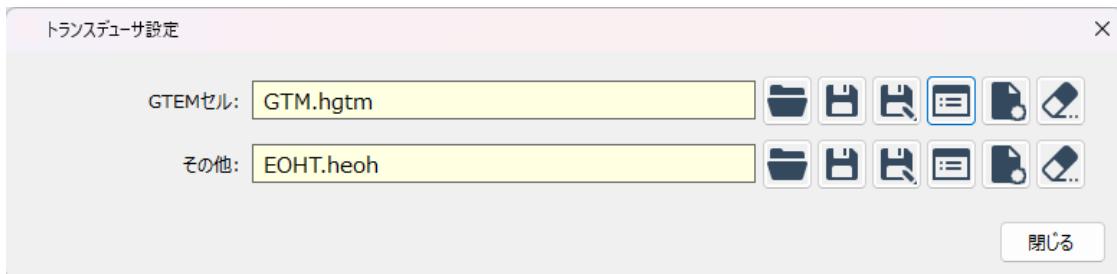


- CLF 測定で使用した Tx アンテナを確認することができます。（編集はできません）

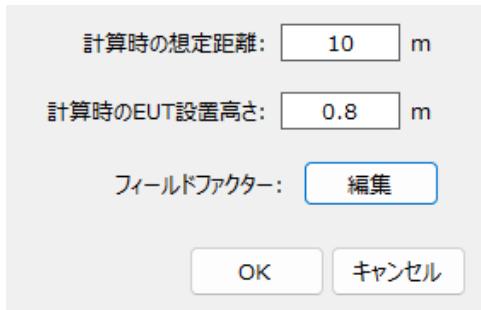


3.9 GTEM セル設定[GTEM]

- ・使用する GTEM セルを選択します。

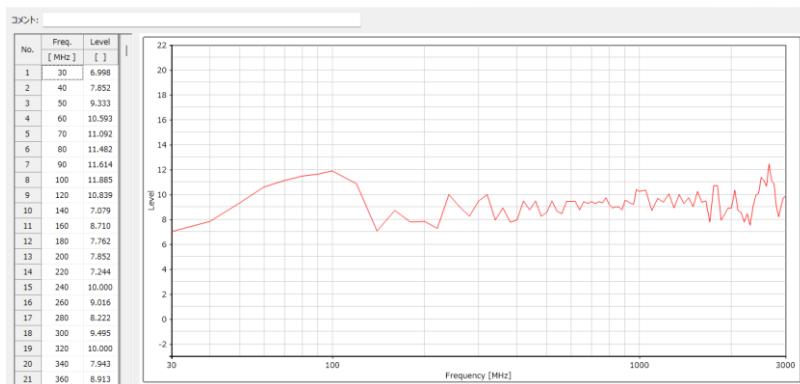


- ・受信レベル算出に使用するファクターを登録します。



計算時の想定距離	受信アンテナと EUT の想定距離です。
計算時の EUT 設置高さ	グラウンド面上の EUT 高さです。

- ・フィールドファクターを設定します



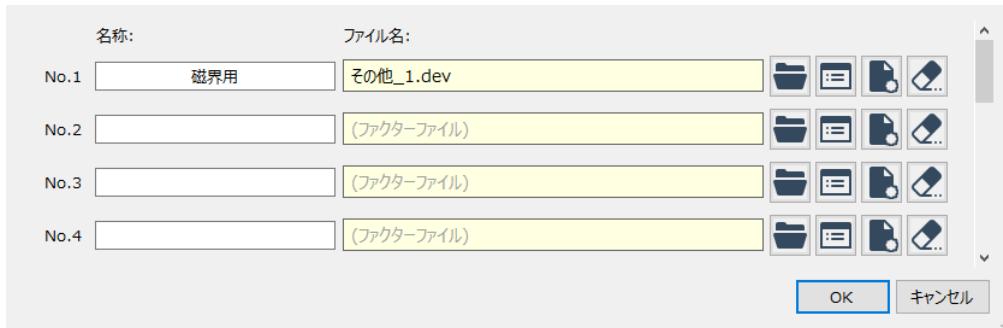
フィールドファクターは以下から求められた値を登録します。

$$e_{0y} = \frac{E_y(x,y)}{\sqrt{P_i[W]}}$$

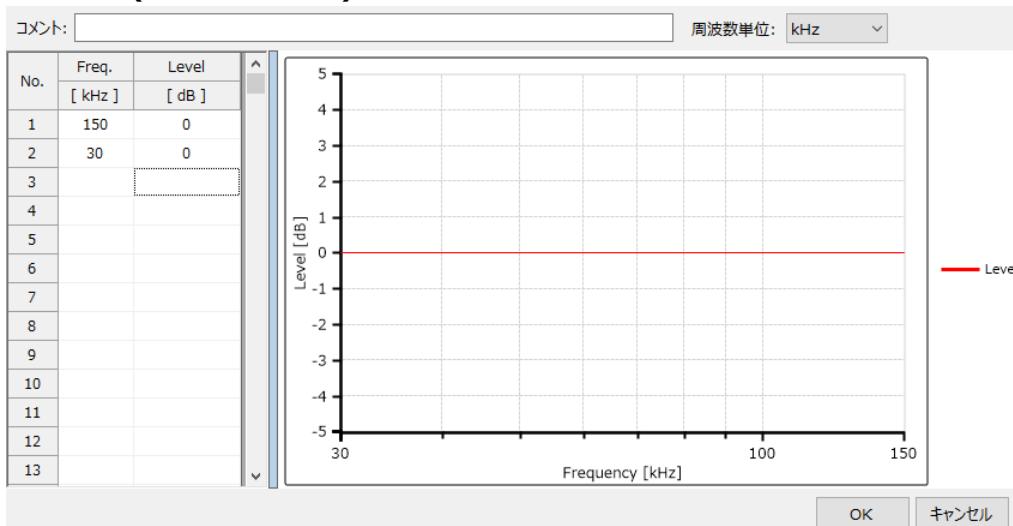
※取扱説明書[SOM-EMI-11_GTEM セルによる受信レベル算出編]参照

3.10 その他設定

- ・どのトランステューサにも属さないトランステューサを登録します
- ・最大登録数は 15 です
- ・名称の入力、ファクターファイルの編集・選択します



- ・ファクター(アンテナファクター)を設定します



測定値 = 受信機読み値[dB μ V] + ファクター[dB]

4. 測定経路を設定する

4.1 測定経路について

・ケーブルロスファイル/プリアンプゲインファイル/経路ファクターファイルを経路ごとに選択します。

・RF 切替器の選択を行います

各ファイルの操作については [簡単スタートアップガイド] を参照してください。

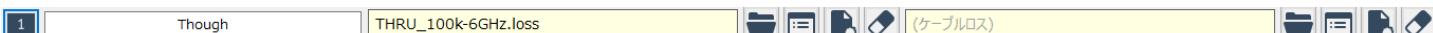
4.2 経路設定画面を開く



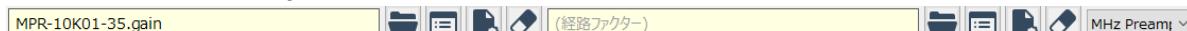
4.3 経路を設定する



・名称を入力し、ケーブルロスファイルを選択する



・プリアンプゲインファイル/経路ファクターファイルを選択し、切替器を選択する



測定値 = 受信機読み値[dB μ V] + ケーブルロス[dB] - プリアンプゲイン[dB] + 経路ファクター[dB]

ソフトウェア取扱説明書	書類番号 SOM-EMI-02-05	ページ 27 / 27
-------------	-----------------------	----------------

■ ご注意

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。

本書の内容およびソフトウェアの仕様について、将来予告なしに変更することがあります。

■ 商標について

Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

National Instruments, NI, NI-VISA は、National Instruments Corporation の登録商標または商標です。
その他、各会社名・各製品名は各社の登録商標または商標です。

■ お問い合わせ先

・株式会社 TDN

TEL: 050-3634-5277 E-mail: info@td-n.co.jp